

豊田市総合雨水対策マスタープラン改定に関するアンケート(結果)

実施期間：3月6日(月)～3月16日(木)

回答者数：150人

【1】国で、気候変動による将来の降雨量増加や、
水災害の規模増大が予測されていると知っていますか？

知っている	80
知らない	70

【2】本市は、時間や費用が増加するものの、
国の予測に基づく規模の対策を考えていますがどうですか？

賛成	133
反対	4
その他	13

【3】「流域治水」という考え方を知っていますか？

知っている	24
聞いたことはあるが、内容は知らない	45
知らない	81

【4】「流域治水」の取組が必要だと思いますか？

必要だと思う →Q5へ	140
必要だと思わない →Q7へ	3
その他 →Q7へ	7
分からない	
この欄には何を書くべきかご説明をお願いします。Q7に関する意見はQ7の意見欄に記入しました。	
難しくてわからない	
イメージが湧かない。不要と思いますが？	
判断ができる材料がない。	
流域治水の具体的な中身が分からない中で要否は考えられない	
よく分からない	

**【5】流域治水におけるハード対策として、
どの対策が効果的だと思いますか？（複数選択可）**

行政による河川の改修（安全に雨水を流すために川幅を拡げる）	103
行政による雨水排水施設の整備（安全に雨水を流すために雨水管を整備する）	101
行政や事業者、住民による貯留施設の設置（雨水の流出を軽減するために雨水をためる）	55
行政や事業者、住民による農地やため池での貯留（雨水の流出を軽減するために雨水をためる）	60
行政や事業者、住民による家屋などの地盤のかさ上げ（浸水被害を軽減するために住まいを工夫する）	41
その他（※自由記入）	0

**【6】流域治水におけるソフト対策として、
どの対策が効果的だと思いますか？（複数選択可）**

行政による土のう袋や防水シートなど水災害を防止するための資材など（自助）に対する補助（住民の浸水被害を軽減するため）	69
行政による大雨時の浸水予測や浸水実績などの情報の発信強化（住民の安全な避難を確保するため）	102
行政や事業者、住民によるマイタイムラインの作成（マイタイムライン…自分に合った避難行動計画）（事業者や住民の安全な避難を確保するため）	54
行政や事業者、住民による防災訓練の実施（事業者や住民の安全な避難を確保するため）	50
行政や事業者、住民による周辺の側溝などの定期的な清掃（安全に雨水を流すため）	84
その他（※自由記入）	0

【7】 今後の雨水対策について、ご意見があればお聞かせください。

ゲリラ豪雨は対策が難しいと思います。避難警報を流し、早めに逃げられるようにするのも良いと思います。

今後も異常気象による大雨、集中豪雨は増えると予想されるので対策が必要

今は切迫感がなく普段意識することがあまりない人が多いと思う。失礼ながら行政の発信の工夫が必要なレベルではないかと思う。

安全な避難等、日ごろからの市民への情報発信をスマホで見れるようにしてほしいです

気候変動によるものなのか毎年のように予測不可能な災害が起きているので、また起きたのかという慣れの感覚も出てきているように思います。情報量は年々増えていますが自分ごとに結びつけられるような訓練等や、AIなどで個別に災害被害のシュミレーターの提供のサービスがあると危機意識が高まるきっかけになるのではと思います

下水道工事の時に、浄化槽を補助金を使い雨水タンクにしました。使いやすく、満足しています。各家庭でできる事を発信して行って欲しいです

今までの対策で十分な気がします。枝下用水のリニューアルも行っているし。水害にさらされない高台の住まいを増やすべきでは。

設問には答えたが、雨に関して専門的なことは知らない。つまり、素人の意見で今後の雨水対策が決まることはあり得ない。専門家による実際の土地・川の調査、助言などが大切だと思う。

何十年に一度と言われる大雨が毎年のように言われていて、水害から身を守るのは普段の備えと地域住民同士の連携が必要不可欠だと思います。また、超高齢化の中で高齢者の避難対策も周知して欲しい。

異常気象が異常でなくなってる（頻繁におこる）ことを認識し、計画的に対策をすすめることが重要。（内容そのものよりも）

矢作川水域の防波堤の強化、ハザードマップ定期更新、民間企業と市民が地域で協力しての避難訓練実施

行政の取組意外にも、新築住宅に雨水がゆっくり浸透するタンクを庭に埋めたり（正式名を忘れてしまいました。）災害時にも活用できる雨水タンクを設置したり、家庭で出来ることも積極的に導入して欲しいと思いました。

新規土地開発、建物建築の際の、雨水貯留レベルを上げる。排水の隘路を発見し対策を取る。

危険箇所は随時対策して欲しい

災害が起こる可能性の高い場所の周知をして欲しいと思います

治水対策を行うために治山対策を行う必要があると考えます

各家庭でも雨水が草木の水やりやトイレの水洗に活用されるような設備に補助があるといいと思います。

国管理の1級河川は整備されているので氾濫洪水被害が比較的少ないが県管理の中小河川は整備されておらずゲリラ豪雨が起きると氾濫し易い。流域治水の考え方はこれからの時代にマッチしていると思います。

川の内部が土でせき止められそうになっている部分が見受けられるが、定期的に土を撤去する作業をして頂きたい

必要とする材料がない。不要と思う。政府の予測の内容はどんなものか？東海沖地震も大騒ぎしたが？？

豊田にも地下に雨水を貯めれる施設があったらいいですね。あったらごめんなさい。前テレビで見たことがあったので。ただ凄くお金がかかるでしょうが…

予想とか必要性、緊急度等がわからない、従って判断が出来ません。

行政による雨水排水施設の整備として雨水管の水を川へ流すなら雨水対策になりますか

家の側の水路が雨が降る度に滝のような騒音になるため、修理を依頼していますがなかなか実行されません。新しいものを作る時は始めから騒音対策もされるとよいと思います。

こども園が低い位置にあることが多いので、各施設の改修や災害時の備えを十分にしたい

特にありません

舗装された道路ばかりだと水がしみこまないと聞きました（タイでの洪水の時）。市中心部にも水が地下浸透するような逃げ場が必要だと思います。

住民に水の怖さがまだわかってないような気がする

雨水対策に有効な事業には補助金を考えておきたい。

荒れた山林等の保水力向上

個人が今すぐにでも出来ることを知りたい

個人単位での、周囲の点検から区内での範囲を拡大しての、点検等でより多くの危険要素を見つけ出す工夫をより多くの人々が持つようになればと思います。

それほど差し迫った危険には感じていないのが実情です。

雨水による土砂災害にも配慮をすることが欠かせません。

定期的な側溝の掃除、土砂取りは大事だと思う

そんな曖昧な質問では答えようがありません

田んぼでの水をためるのは良いが、災害が起こる前の対策だと思います。もし、田んぼで水をためて災害が防げたとしても、再度田んぼとして利用するまでに多額の費用が掛かります。その分も行政にて補助できるシステムがあれば、このような取り組みに賛成してくれる方が出てくると思います。

なるべく水災害の被害が少なくすみますようによろしく願います

みんな災害の意識を強める宣伝が必要

普段の避難訓練が必要です

個人で取り組むのは難しいかと思いますが、環境美化のように地区で参加しなくてはいけない行事として治水のお手伝いや掃除等があれば、参加する人々が多いかと思います。

矢作川の『鵜の首橋』周辺の河川が改修がされているのを知っています。昔から知っておりますが、名前の通り川幅が細くなっており、川の流れを緩やかにするためと聞いております。こうした将来災害が起きないための改修工事と言うのも、安心して生活をするためにも必要な事と考えてます。

大雨の時、盛り土が心配。山間部の秩序ない開発をせず、治水効果のある落葉樹を増やす。都市部もアスファルトで固めるだけでなく、もっと公園など(土の部分や林)を計画的にまちに配置して一気に水が流れるのを和らげるまちづくりをしてほしい。

自然災害が起こったときは、積極的に避難することを

中長期的な“国土強靱化”的投資が必要ではないか？と常に思っています。